

－ 第3章 － 創立50周年記念行事

第一部：シンポジウム

「多摩市の地域自治活動に期待するもの」

地域の自治活動を行うにあたり、特定の地域のみで解決出来ない実にさまざまな課題があります。その際、市の行政をはじめ防犯・防災・環境・福祉等の関係する他の団体や各部署との連携を必要とします。

また、それぞれの団体や各部署が事業遂行に当たり、地域住民に最も身近に組織されています。自治会・管理組合との協力関係を必

要とする部分も多くあります。

「多摩市の地域自治活動に期待するもの」との標題のもと、多摩市自治連合会50周年記念シンポジウムが行われました。

以下は基調講演の要旨です。

開催日：平成 27 年 9 月 27 日（日曜日）
会場：多摩市立関戸公民館ヴィータホール
参加者：51 団体 126 人
司会者：森本 由美 総務委員



講演者紹介

多摩市長	阿部 裕行
警視庁多摩中央警察署署長	面原 剛
東京消防庁多摩消防署署長	矢島 務
東京都南多摩保健所所長	渡邊 洋子
多摩市社会福祉協議会会長	伊藤 雅子
多摩市自治連合会会長	千葉 胤昌



前列中央は講演者・顧問・役員

地域の皆さんのとの合意によって進める行政

多摩市長 阿部 裕行

直近に発生しました茨城県常総市における鬼怒川堤防決壊の洪水災害に関連して、気象庁警報発令時の多摩市での初動対応体制の説明をいただきました。

災害後の復旧に関連して、地域の絆や住民同士の共助意識が確立されている所ほどより早く復興が進む傾向があります。

防災に関して、道路・河川そして避難場所の公園整備などを進める上で、また公共施設の見直しなどの基本的な部分で、地域の皆さんと一緒に汗を流して考えていくことが必要な時代に入ってきています。この一番の原点は、自治会・管理組合であり、その役割は大変大きなものです。

いつ起こるかわからない災害に備えて、また



これから先、超高齢社会になる中で、大事なことは顔が見える関係で丁寧に時間をかけて合意を得ていくことが、今行政に求められていることだと思います。

これからも地域の皆さんと災害時の危機管理、初動体制・共助体制（絆）の構築・防災に備えた合意作りを進めて参りたいと思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。

地域の皆さんとの情報共有に期待

警視庁多摩中央警察署署長 面原 剛

スクリーンを利用して、東京都内の刑法犯発生件数及び犯罪率の状況について、グラフで解説をしていただきました。

多摩市は、治安の面では都内においても比較的安全な街です。

多摩中央警察署管内では現在、38台の防犯カメラが稼働しており、今後更に10台の設置を進めています。

犯罪の抑止効果は極めて高く、昨年の連続放火事件や、今年も連続侵入窃盗事件の解決にその威力を発揮しています。

犯罪抑止のため、関係各機関との連携をはかり、情報の共有を進めていきます。

防犯に役立つリアルタイムの情報発信に努めてまいりますので、地域の皆様には連絡網



の整備等をお願いします。地域の皆さんからの情報提供をお願いします。

皆様には平素から、防犯パトロール等にご協力をいただいておりますが、身近な地域の危険情報（不審者・標識破損・交通施設の破損・危険物放置など）についても是非ご提供をお願いします。

防災訓練を経験する事で自ら得る防災対策

東京消防庁多摩消防署署長 矢島 務

スクリーンを利用しながら、消防庁組織とその活動内容の説明がありました。

実際の災害時には、消防署だけでの対応では限界があります。災害時、被害を最小限に食い止めるためにも、平時における地域の防災訓練等は、とても大事なことです。

多摩市管内の自治会・管理組合等で、この3年の間に一度も防災訓練を実施していない地区の団体が38ほどあります。

署としても“出前街角防災訓練”に取り組んでいます。小規模ではありますが、防災訓練の体験は、実際の災害時には必ず役立ちます。まずは、ご自身のため、そして地域のために防災訓練を経験してください。

清掃車の火災が、依然として無くなりません。



地域における注意喚起を、是非お願いします。東京都が全戸に防災ブックを配布しています。郵便受口に投函できない場合は、未配布です。消防署や市役所にて、対応していますので、ぜひ防災意識の構築をお願いします。

環境衛生の確保はまず身近な所からの取り組みです

東京都南多摩保健所所長 渡邊 洋子

地域の皆さま個々に接する機会は少ないと思いますが、各地域で実施されます様々なイベントや行事を通じて、保健衛生面で接点があります。特に、その際における“食の安全確保”指導は大切なことです。

行事等で食べ物を供するとき、衛生面から手袋をして調理をすることがありますが、清潔な表面を不潔にしないようにする意識が重要です。手袋や、手指を介してノロウイルスなど食中毒の病原体が広がらないように、ご注意くださいをお願いします。

昨年、代々木公園を中心に蚊の媒介によるデング熱の発生が相次ぎました。海外から旅行者によりウイルスが運ばれたのです。むやみに殺虫剤を撒くと自然の生態系に影響があり



好ましくありません。蚊が発生しないようにする対策が重要です。放置されているたまり水は、蚊にとって生育の最適地です。環境衛生面からも、家庭や地域でたまり水の放置をなくすよう、清掃活動にぜひご協力ください。

地域活動の中で新たな協力関係の構築に向けて

多摩市社会福祉協議会会長 伊藤 雅子

社会福祉協議会の活動は、地域密着を中心として行われます。その活動形態は、自治会と共通する点が多くあります。

ボランティア活動が中心であり、○赤い羽根共同募金 ○歳末助け合い募金 ○地域活動への助成金 ○災害時対応で市との協定 ○高齢化社会への対応…広範な活動を受け持っています。

地域住民の親睦・交流に供する“ふれあい・いきいきサロン”は市内に、現在 61 箇所設置され活動しています。

地域における高齢者の見守りや新たな共助精神の醸成に、大きな役割を担っています。自治会・老人クラブ・地域のボランティア等々運営にも多彩な形態がありますが、確実に地



域主体性をもったサロンが誕生しています。

自治活動の多彩な活動の中で社会福祉協議会と共に協力し合うものが多くあります。

地域交流の中から得た

多摩市自治連合会会長 千葉 胤昌

私共の自治活動を推進する過程の中で、日頃ご指導・ご支援をいただいております各関係機関の皆様から貴重なご講演を賜りましたことに当幹事の立場から、感謝と御礼を申し上げます。

現在の自治会が抱える課題の一つに、会員の加入率が伸びていない現実があります。その現実の中から、本来自治会のような組織がなぜ必要であるか?歴史的な経緯・東日本大震災の際、避難に集まった人々がなぜ自治会を必要としたか?社会の中で人々が共に生活を営むにあたっては、必然性を持って生まれるべき組織である。

自治会活動に参加しその中から会得する共助の精神などは、ご自身の貴重な財産となりま



す。社会の変革・変遷の中で社会生活を送り、人生を過ごす過程において近隣の皆さんと親交を持つ事は決してマイナスになるものではありません。むしろ自治組織のない地域は、お互いが絆を持ってない殺伐とした寂しい地域となります。

誰かのために尽くす、これを義務と思わないで下さい。誰かも必ずあなたを助けています。

ご講演をいただきましたパネリストの皆様の持ち時間は15分でしたが、とても密度の濃いお話でした。参加された会場の皆様も熱心に拝聴されました。

50周年の記念行事として企画されたものですが、今後の地域活動に参考とすることもいっぱいありました。

阿部多摩市長

いつも笑顔を持ってお話をさせていただきます。

面原警察署長

赴任早々でしたが、警察行政に熱き心を持って取り組む姿勢を感じました。

矢島消防署長

災害時に、自宅から自転車で6時間かけて現場に駆けつけた行動派です。

渡邊保健所所長

穏やかなお話の中に、秘めた誠実で熱心な思いが伝わってきます。

伊藤社会福祉協議会会長

社協活動に、いつも誠心誠意思いを込めて取り組まれています。

皆様、業務多忙な中大変ありがとうございました。

